

平成 30 年 建設技術研究開発評価委員会〈議事要旨〉

日 時：平成 30 年 2 月 5 日（月）16:05～17:30

場 所：中央合同庁舎 4 号館 12 階 全省庁共用 1211 会議室

出席者：【委員長】道奥康治、【副委員長】野城智也（五十音順、敬称省略）

【委員】加藤信介、清水英範、田中哮義、平田京子、安田進、山口栄輝

議 事：・総合技術開発プロジェクトについて

・ヒアリング（終了時評価【2 件】、追跡調査【1 件】）

配布資料：総合技術開発プロジェクトについて

【終了時評価】災害拠点建築物の機能継続技術の開発

【終了時評価】社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用
技術の開発

【追跡調査】地震動情報の高度化に対応した建築物の耐震性能評価技術の開発

議事要旨：平成 28 年度の終了課題（2 件）に関する終了時評価、平成 25 年度の終了課題（1 件）
に関する追跡調査を実施するため、外部有識者による評価委員会を開催した。
委員の主な意見は下記の通り。

【終了時評価】災害拠点建築物の機能継続技術の開発

- ・地震対策技術の研究については、免震・制震の技術も含めて整理するとよい。
- ・竜巻対策技術の研究については、飛来物に対する検討としているが、竜巻自体の風圧力等
に対しての影響についても整理するとよい。
- ・研究成果として「災害拠点建築物の設計ガイドライン（案）」をとりまとめているが、ガイ
ドラインによって設計方法を制限してしまう場合があるので留意してもらいたい。
- ・とりまとめたガイドラインについては、新たな知見等を反映し、今後、改訂していくこと
も検討してもらいたい

【終了時評価】社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術の開発

- ・外壁等の落下に対する日常安全性確保について、対象の建物に一般の戸建て等の住居が含
まれていないが、老朽化した空き家などにより隣接道路等への落下物が問題となっている
ため、対象物として研究が進められることを期待する。
- ・維持修繕工事については、仕様発注のみでなく、性能発注の可能性も考慮することが望ま
しい。

【追跡調査】地震動情報の高度化に対応した建築物の耐震性能評価技術の開発

- ・公開している成果については、ダウンロードの数値だけでなく、どのように利用されてい
るのかも把握できるとよい。
- ・地震観測記録の収集等では、他省庁で行ってる取組もあるため、連携して実施していくこ
との検討もしてもらいたい。

以上